

# TSUDOI

## スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

### 本レポートコンテンツ

#### ◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測








#### ◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

#### ◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

### ◆調査銘柄 早見表

TOP	 Hedera	 MANTRA	 Arbitrum
中堅	 Ethena	 Onyxcoin	 Pudgy Penguins
新規	 Berachain		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料  
レポート

# 週次トークン価格高騰 TOP銘柄

## トップ銘柄 分析ガイド 2/7

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題になっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から市場で何が起ったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#17	 <b>Hedera</b>	Layer1	¥1,423,451,575,173	¥37.20	36.62倍 (ETH比)	▼25.99%
#25	 <b>MANTRA</b>	RWA	¥873,540,784,002	¥899.47	2.18倍 (LINK比)	▲23.75%
#48	 <b>Arbitrum</b>	Layer2	¥316,637,008,983	¥72.89	1.86倍 (MNT比)	▼23.22%

## TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▼7.53%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

### Hedera：HBAR

本銘柄は、直近3カ月で5度目の選出となります。



注目ポイント：Hedera (HBAR)先物の関連が進展による期待

Coinbaseは米国商品先物取引委員会（CFTC）に対し、**Hedera (HBAR) 先物契約の上場申請を実施し、市場から技術力および流動性向上への期待が寄せられました。**

その後、Coinbaseが英国金融行動監視機構（FCA）より、登録認可を取得し、**英国ユーザー向けに仮想通貨と法定通貨双方のサービス提供体制を整えました。**これにより、**Hederaは大手取引所の採用実績を背景に、市場拡大と投資家信頼の向上が期待される好材料**となっています。

## MANTRA : OM Good



本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Republic CryptoがMantra Chainへ参入とRWA市場の成長への期待が高まる  
2/3 発表されたRepublic CryptoがMantra Chainのアクティブバリデータセットに加わった  
ことが、直近の大きな注目要因となっています。RepublicはCoinbaseなど業界主要企業の支  
援を受けた機関向けステーキングインフラを提供しており、これによりMantraのネットワーク  
信頼性とセキュリティが再評価されています。RWA市場の成長と大手企業との連携が追い風と  
なり、直近相場の乱高下にもかかわらず新高値を記録したことでより注目度が高まっています。

※ステーキングが活発化するメリット

OMトークンが長期間ロックアップされ、流動性が低下することで需給バランスが改善され、結果的にトークンの中長期的な価格上  
昇へとつながる可能性があります。

## Arbitrum : ARB

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。



注目ポイント：Arbitrum × Bitcoin統合による巨体な流動性流入への期待高まる  
今週、Arbitrumは2つの重要ニュースにより大きな注目を浴びています。2/6発表された  
BitcoinOSを活用したBitcoinとの統合は、従来のEthereum中心の枠を超えて、巨大な  
Bitcoin流動性をArbitrumエコシステムに取り込む可能性があります。Bitcoinユーザーが直  
接ArbitrumのDeFiやdAppにアクセスできるようになることで、ネットワーク利用が拡大し、  
その結果、ARBトークンの需要増加（手数料支払い、ガバナンス参加等）につながると期待され  
ます。また、Ethereum L2間の相互運用性向上させる施策としてUniversal Intents Engine  
を発表しており、L2ネットワーク全体の利用効率が上昇、DeFi活動が活発化することが期待さ  
れています。

# CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

## 狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 2/7

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

### 検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#54	 <b>Ethena</b>	Stablecoin Protocol	¥260,363,587,159	¥83.23	—	▼25.11%
#77	 <b>Onyxcoin</b>	Layer1	¥141,144,384,065	¥4.58	1.68倍 (VIRTUAL比)	▼22.57%
#93	 <b>Pudgy Penguins</b>	Collectible s & NFTs	¥112,474,753,819	¥1.79	—	▼22.24%

### 狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▼7.53%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



とは TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

### Ethena : ENA



本銘柄は、直近3カ月で4度目の選出となります。

注目ポイント：米上院の明確な規制枠組みを構築する取り組みが追い風に

2/5 米上院で提案された「GENIUS Act」は、ステーブルコイン発行者にライセンスや準備金要件を課す明確な規制枠組みを整備し、特に100億ドル未満の企業には州レベルの規制を適用することのこと。これによって中小規模のEthenaのような発行体は、従来より規制負担を軽減できるため、市場参入や事業拡大が一段と容易となります。こうした法整備により、利用者や金融機関からの信頼が高まり、ステーブルコイン全体の普及が促進され、同領域のEthenaへの需要拡大と長期成長への期待も高まります。

## Onyxcoin : XCN

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：レイヤー3発表とジャスティン・サン氏参画により注目を集める

Onyxが新たに発表したLayer3ブロックチェーン「Onyx XCN Ledger」は、高速かつ低コストな取引を可能にし、**Arbitrum Orbit上でのスケーラビリティとBase (CoinbaseのLayer 2)を経済・決済層として活用する点に注目が集まっています。****XCNはガス代として利用されることでデフレ効果(バーン)が期待**され、金融業界からの採用が促進されるかが注目のポイントです。また、**OnyxDAOガバナンスでOIP-52が可決**され、ジャスティン・サン氏が関与することが決まっており、**HTXとジャスティン・サン氏が持つ世界的な知名度と資金力により、OnyxProtocolの信頼性と普及が大きく高まる点に期待**が寄せられています。

## Pudgy Penguins : PENGU

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：大量バーンによる希少性の向上と今後の展望

2/6 配布期限が過ぎた未請求のPENGUトークン12,164,667,616個（総供給量の13.69%）がバーンされるイベントがあり注目を集めています。**トークン価格へのポジティブな影響は限定的で、市場は既にこの事実を織り込んでいると考えられます。**今後の展望としてキャラクターIP・NFTやゲーム、AI連携で多角展開を発表しており、NFT起源の堅固なコミュニティに支えられ、単なるミームコインではなく、カルチャーコインやコミュニティコインとしての将来性に期待が寄せられています。

## 大穴：新規銘柄 発掘ガイド 2/7

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から800位に位置する銘柄を調査し、成長性の高いものに「Goodマーク」を付与する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄における「Goodマーク」は、TOPや中堅銘柄の「Goodマーク」とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間の CMC推移
#77	 <b>Berachain</b>	Layer1	¥131,020,000,000	¥1,217.07	379.21倍 (ETH比)	2/6新規発行





参照元：Coinmarketcap

## Berachain：BERA（新規銘柄として注目!!）

注目ポイント：前評判の高い新興レイヤー1としてメインネットローンチに注目集まる

Berachainは、メインネットローンチ前に「Boyco」流動性プログラムを展開し、**30億ドル以上の総ロックバリュー（TVL）を獲得**しました。特に、リキッドステーキングトークン（LST）の大量流入が大きな話題となっており、従来のプルーフ・オブ・ステークとは異なり、コンセンサスアルゴリズムとして、流動性提供をネットワークセキュリティに活用するProof-of-Liquidity（PoL）モデルを採用しています。PoSとは異なるアプローチとして、資本は単にアイドル状態で留まることなく、常に生産的に活用され、ブロックチェーンの安定性と効率を高める仕組みとなっています。

今回のメインネットローンチとトークン配布により、市場がどのように形成されるかに大きな注目が集まっており、前評判の高い新興レイヤー1プロジェクトとして、将来的な台頭が期待される状況です。

※昨年、Framework Ventures, Polychain Capital, HackVCなどの業界VCから資金調達をしており、過去にTSUDOI月次分析レポートの注目VC銘柄としても選出しております。

## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：[info@sigmainc.co.jp](mailto:info@sigmainc.co.jp)

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>